

## 平成24年度 第1回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成24年7月6日(金) 午後2時00分～午後4時00分  
場所 花見川保健福祉センター3階大会議室  
出席委員数 24名  
欠席委員数 3名  
事務局 11名

### 【1】次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 事務局職員紹介
- 4 議題 (1) 会議の公開について  
(2) 委員長・副委員長の選任について  
(3) 花見川区地域福祉計画の推進状況について  
1) 地区別の取組状況について  
2) 補助事業について  
(4) 今後の進め方・スケジュールについて  
(5) その他
- 5 閉会

### 【2】議事要旨

委員定数27名のうち、23名出席、3名欠席を確認し開会した。  
配付資料の確認、委員紹介、事務局職員紹介を行った。

#### 議題(1) 会議の公開について

事務局より会議の公開について説明。傍聴人の参加、会議録の作成、ホームページ及び推進協だよりへの掲載のための写真撮影及び録音を行うことについて、異議無く了承された。(傍聴人1名入室。)

#### 議題(2) 委員長・副委員長の選任について

事務局より、委員長、副委員長が選出されるまでの間、花見川保健福祉センター細谷所長が仮議長に就任することを提案し、了承された。

委員長・副委員長の選出は委員の互選となるため、立候補・推薦を依頼したところ、天春委員より、課題の継続性を考え、委員長に原田委員、吉松委員より副委員長を東野委員にお願いしてはどうか。との発言あり。

他に意見はないため、諮ったところ、異議無く承認した。

委員長・副委員長が就任挨拶を行った。

休憩 5分 委員長・副委員長と事務局の打ち合わせ

#### 議題(3) 花見川区地域福祉計画の進捗状況について

- 1) 地区別の取り組み状況について

資料1「取り組み項目地区別一覧表(平成24年6月末日時点)」をもとに、社協花見川

区事務所大野所長より新たに情報提供いただいた部分について報告。

<質疑応答>

横矢委員 : 資料の字が小さすぎる。どうにかならないか。

事務局 : 変更した部分のみ大きく表記するということでよいか。

原田委員長 : 追加分のみ別紙で大きく表示してはどうか。

蔵屋委員 : 字が小さすぎると読む気をなくすので、枚数が増えてもいいから見やすくして欲しい。

事務局 : 検討して案を出すこととしたい。

## 2) 補助事業について

高齢障害支援係塚原係長より、資料3をもとに地域見守り活動団体補助金について説明した。

<質疑応答>

鈴木(勝)委員 : 助成対象は備品購入のみか、活動費や講師の謝金などには使えないのか。

事務局 : あくまでも初度調弁費用を助成するもので、運営にかかるものについては対象外である。

鈴木(幸)委員 : 他に実施している団体はあるか。

事務局 : 前年度原田委員長の自治会が見守り活動事業として申請している。

原田委員長 : 申請は難しくない。立上げ補助より活動費の補助をして欲しいと言っている。

蔵屋委員 : 他区では前向きに取り組むものとして講師謝金も助成対象としていた。広報はしているのか。

原田委員長 : それは区づくりの助成である。区づくりの補助金は区版に載っていた。

事務局 : この事業は今年度まだ市政だよりに載っていないようである。

安澤委員 : 畑町の自治会に所属しているNPO法人と毎年共催で納涼祭を行っている。予算は協賛金をもらわず自治会から出してもらっている。テントは入っていないがどうか。

原田委員長 : 祭り自体が対象にならないのでは。

事務局 : 地域の見守り支援のための初度調弁費用なので、対象外である。

蔵屋委員 : 区の助成事業は今年度ないのか。対象は。

事務局 : 今年度はもう応募を締め切ってしまった。対象としては、特定の団体の方々のための事業でなく、地域にプラスとなり、周辺にも影響を与えるような、区全体に広まっていくような事業に助成したいと考えているのでご了承いただきたい。毎年予算を計上したいと思っている。

東野委員 : 今年度区民まつり実行委員会で災害時用にテントを購入した。区民まつり実行委員会の中で自治会にも貸出して良いのではないかという意見があり、了承された。地域振興課で保管しているので、使用の際は地域振興課に申し出ていただければと思う。

## 議題(4) 今後の進め方・スケジュールについて

花見川保健福祉センター高齢障害支援課鈴木補佐より今年度の進め方について資料3により説明。スケジュールについて、年4回(7・9・11・次年度2月)の実施を予定、詳細はその都度連絡。

<質疑応答>

- 東野委員 : 分科会という発想はどこから出たのか。市の指導があったのか。事務局としてどう考えているのか。
- 事務局 : 昨年度第4回の推進協にて複数の委員のみなさんからご意見いただいたために各区の進行状況を報告し、これからの進め方について一つの案をお示しただけである。委員のみなさんのご意見によって進めるものだと考えているので、各区の進め方を参考にさせていただきたいということである。
- 鈴木(勝)委員 : 若葉区のケースで行くと花見川区においては社協地区部会の活動がほとんどであって、NPO法人や施設、公募の委員の活動が埋もれてしまっている。社協地区部会とその他分科会に分けてそれに焦点をあてて何をすべきか考えるのはどうか。原田委員長が言うように命令権もない組織だが、実行については千葉市の全体の推進計画の話し合いに挙げてもらえればよいと思う。
- 原田委員長 : 見直し作業の際にやっていたことがもとに戻ってしまう。もとに戻るのではなく、それはそれとして、進めればよい。
- 蔵屋委員 : 全体会でフォローできるということであればいいのでは。
- 高橋委員 : 公募であるが、貢献度が少ない者が言うのもどうかと思うが、地域での広報、周知ができればと思い、参加させていただいている。かなり前から活動されていた方の話を理解するのに1年かかってしまった。お祭りの実行委員をお手伝いさせていただいている。要望が多ければやられてもよいが、そこまでの高まりがないように感じる。事務局に主導権を持っていただいてもよいのではないか。個々でやられている事業は進行されているのでそのままではよいのでは。
- 原田委員長 : 会議を進めるにあたり必要な資料等の準備を事務局に依頼しているだけで、決めるのは我々委員である。
- 斎藤委員 : 花見川区は地区部会の活動が中心となっている。この会議は結果的に公募の方や施設の方に地域の福祉のためにこういうことを考えています、ということをご意見としていろいろ提言していただくことが地域の福祉のためになると考えている。声を聴くことによって、地域福祉活動の担い手である我々が認識を新たにすることになる。議題を絞ったり焦点を絞るなどしないと、活発な意見が出ない。運営の仕方として全体的にふわっと流れていってしまっている。
- 花島委員 : 障害者連合会として出ているが、もう少し、私たちの地域の現状はこうなんだ、だからこの様に努力している。ということを出していただいて、それを聞きたい。それを参考に議論を深めていった方がよいのではないか。
- 黒田委員 : 正直、毎回会議にでていて有意義だったと感じられない。その中で分科会に分かれて議論がうまくいくのか疑問。
- 山田委員 : 分科会を設定するかどうかで議論が進んでいる。現段階で何をテーマにして分けて議論するべきかはっきりしていない中で、分科会を設定すべきではないのでは。
- 鈴木(幸)委員 : 花見川区の課題は沢山あり、すでに区の地域福祉計画の中で現状・課題・取り組みと出ており、これについてさらに深く考える必要がある。分科会にする目的はひとりひとりの意見をきくこと、推進協議会の活性化、課題が絞れるということがある。分科会のテーマは何にするかということについては、事務局や委員長・副委員長さんが決めて話をしていけばよいのでは。
- 鈴木(勝)委員 : 分科会は一つの方角。資料に出ている活動内容は変化していない。年間4

回終わったところで満足して帰れていない、また同じことをやった、となる。全市的な推進協大会や専門家の講演会など味付けを変えてやると広がりが出て活性化するのでは。

金子委員：自治会や地区部会は日常的にやっていることが多くて、NPOの方には歯がゆいように思われるだろうが、ある一部分だけ計画立ててやろうとすると噛み合わない。今までどおりやるのは決して意味がないわけではない。

吉松委員：フォーラムの中の代表として来たと認識している。フォーラムではこの地区にはこれが足りない、という議論があった。またフォーラムの形に戻してもよい。その後推進協で具体的な取り組みを行ってもよいのではないか。

天春委員：第2次福祉計画の重点項目は6項目と決まっている。委員長・副委員長に努力してもらい、自治会の連絡協議会にメンバーが分かれてお願いに上がるのはどうか。次回以降は状況を話し合うなど、具体的なことをやったらどうか。自治会の方が出てきている連協の会長がきていない地区もある。各自治会で課題が違うので、自治会に少しでもやっていただきたいと説明するなど、具体的にやればよい。

原田委員長：それについては、検討させて欲しい。

黒田委員：要綱の中に情報のプラットフォームとなる、と書いてある。4つの目的をどれだけいきいきとやっていくかが会の方向性なので、あくまで原点に戻って役割を考えて頂きたい。

原田委員長：できるだけ手間をかけずに効果を上げる方法を検討していきたい。

#### 議題（5）その他

花見川保健福祉センター細谷センター長より花見川区推進協だよりの名称変更について資料6により説明。

<質疑応答> なし

委員の了承により推進協だよりの名称変更が決定した。

最後に原田委員長から閉会挨拶をし、午後4時00分・第1回花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。